



おしえてっ 消防団

このまちを守るひとびと

〈ココの気持ち いちばんほしいもの〉で浮かび上がってきた「安全・安心」を求める気持ち——それは、自治会活動がテーマとしているものでもあります。今回は、地域の防災リーダーとして活躍している消防団にスポットを当ててみました。相模原市広報12.1号でも消防団の特集記事が掲載されています。ここでは、さらに大野南地区の消防団に取材させていただいています。どうぞ、あわせてお読みください。

消防団は、消防署と同様、消防組織法に基づき、市町村に設置される消防機関です。消防団員は仕事を持ちながら、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という観点で、地域における消防防災リーダーとして、平常時・非常時を問わず、住民の安心と安全を守るという役割をになっています。公的な災害活動をするため、非常勤特別職の地方公務員で、活動手当や報酬が支給されます。

相模原市消防団は団長のもとに6つの方面隊で組織されています。南区は南方面隊と呼ばれ、その下に4分団19部があります。大野南地区は第3分団の受持ち地域となっています。三つの部にお話を聞いてきました。



消防団の仕事

火災だけでなく地震、風水害など災害時の救助・救出、平常時の防火・救急指導等、多岐にわたっています。大雨の時は川の増水チェックもします。

消防団員になる

市内に在住・在勤の18歳以上の健康な方、男女問わず学生でも消防団員になります。

お問い合わせ：相模原市消防局
消防総務課 消防団班
☎042(751)9116



守られている私たちも、できるところから——



2012年 防災訓練に参加しましたか？

それぞれの自治会ごとに、さまざまな工夫のもとに防災訓練が取り組まれています。私たちにもできる安全・安心の取り組みですね。

11月18日(日)、南新町自治会の防災訓練が新町中学校で行われました。全6区、総勢70名以上で、備蓄倉庫の確認、防災無線、初期消火の訓練が行われました。単一自治会で単一の一時避難をもつこともあり、まさかの時のためだけでなく、訓練参加者のコミュニケーションは意味深いものとなりました。

参加者感想 ●何時起こるかわからないとわかっていながら意識をあまり向けていなかった災害に対して考えさせられるいい機会でした。近所にちゃんと備えがあること、災害に対して真剣に考えてくださっている方々が周りにいることに気付き、安心すると共に、私も訓練に出た以上、災害時には本日学んだ事を生かしたいと思いました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。
(南新町自治会 三区七班 岡島 美里)

第3分団第1部
相模大野

部長●金山幸平さん
部員11名(定員12名)

月2回、主に消火栓点検をしています。部長の金山幸平さんを筆頭に部員11名が活動中。勤続20年以上の石田さんは、「災害時、一人暮らしのお年寄りの救助が気になっていて、自治会等と連携し、どこに住んでいるか等を把握して何とかしたい」とおっしゃっていました。

第3分団第5部
谷口

部長●大貫新一さん
部員15名(定員15名)

第3分団で、唯一のポンプ車があります。地元で自営業の部員がいるので、昼間も出動しています。市境で町田にも応援に行くこともあります。住宅街の夜回り中はカネの音は放火等の抑止力にもなります。ご協力をお願いします。いざって時にしっかり動ける若手! 部員募集中です。

第3分団第6部
鵜野森

部長●松田寿さん
部員11名(定員12名)

3.11以降、何かできないかという想いで60代と女性の部員が入り現場で活躍中です。台風時は境川の見回りもします。冬場の夜間出動で放水した水が凍ったこともあるそうです。部長の松田さんは、「消防団は人の役に立てる達成感のある仕事で、地域に経験者が増えることは、いざという時の影響が大きい」と語ってくれました。



てし
みせ

楽しいサプライズでいっぱいになりたい★

相模大野銀座商店街にある
イタリア食堂ファゴットのオーナー・シェフ

つかもと さとし
塚本 敏さん (43歳)



■今号の「ここみせ」で取り上げさせていただいたのは、スペースや壁面を提供してくださるお店です。そして、このファゴットさんも、12月に壁面を提供して「児玉房子ガラス絵の世界 賢治・虔十公園林」と銘打ち、「さがみおおのはガラス絵でいっぱい!」企画に参加してくれました。

■もちろん、吹奏楽部に在籍していたこともあって、楽器にちなんだ名前のお店にしたかったそうですが、イタリア語で「包む」を意味する「ファゴット」、包みを開けるときのワクワクを届けたいから名付けたと、塚本さん。

■イタリア食堂を名乗りながら、その中身はイタリア風創作料理。素材は、相模原の地場野菜と、ふつうの八百屋さんでは手に入りにくい鎌倉野菜。近くで手に入るから



▲ガラス絵作品のかかる店内
赤基調の店内に虔十の林が見事でした。

新鮮だし、黄色い人参、黒い大根、赤い大根、と、工夫してイタリアンにすると、「小さなサプライズでいっぱいになるでしょ」と、その創作意欲を語ります。サプライズを演出するためにメニューは、わざと簡単に書くというのですから、お茶目さもひそんでいるようです。

■創作意欲の旺盛さは、まちづくりに積極的にかかわる姿勢にもつながっています。ガラス絵展のときも、「そんなふうに壁を利用したかった」と言われ、その日のうちにピックチャールを購入、取り付けたのです。すっ、すばやい!

■来る3月16日には、ポーノ相模大野のオープニング・イベントに地元商店街の店主有志が結成した「ホット・シェフ」として、ジャズ演奏を披露なさるとか。楽器は、なんとフライパンやステンレス・ポットだって! その名の通り熱血店主たちとそのリーダー・塚本さんから目ははなせません。

★ **イタリア食堂 Fagotto (ファゴット)**
相模原市南区相模大野 6-19-8 電話 042-748-0965

何もできないわけじゃない

Note 1

——津久井から大野までおいでになるのは、大変でしょう?
外山:いいえ。ボクはぶつつけ本番で、ひとりどこへでも行きます。せいぜい、改札に行くのに昇るのか、降りるのか、階段の位置を確かめるぐらいで大丈夫なんです。
見えない＝何もできない、ということではないのです。ボクがお酒を飲むというと、びっくりする人もいますが、日常生活に困りません。ボクは7歳で失明しましたが、中途失明の人でも訓練すればOKです。

音声ガイドもあれば便利

Note 2

——大野に通ってみえたのは、音声ガイドづくりのため?
外山:もともと映画が好きで、『おくりびと』などは、封切りと同時に見に行きました。音声ガイドがなくても映画鑑賞はできるのです。でも、音声ガイドがあれば、それは、やはり親切で便利ですよ。今回、初めての体験でしたが、映画が言葉になっていくのが面白かったです。もっと回数を重ねていきたいですね。見えないことは不便ではあるのですが、案内してもらったり、ガイドがあるのは助かります。



▲相模大野駅南口からガイドヘルパーに誘導してもらって歩いていく外山さん。外山さんにとってこの路地も歩きなれた道となりました。

なんでも情報交換 ぴあ・さぼノート

視覚障害者の外山さんにおききました。
目が見えないことは不便なだけなんです。

津久井にお住まいの外山洋介さん、2012年7月から11月まで相模大野に通ってくださいました。映画に音声ガイドを付けるというプロジェクトに視覚障害者モニターとしてかわってくださったからです。

Note 3

——あれば助かる、というのは、障害があるからといって身構える必要はない、ということですね?
外山:ただ、声をかけられているかどうかは、見えないのでわかりません。話しかけられていると思ったら、携帯で話しているだけだったり。見えない人に声をかけるときは、ななめ後ろあたりから、肩か腕に軽くタッチして話しかけてください。また、タッチパネルが増えてきましたが、触って分からないので、苦手と知っててください。
——最後に相模大野の印象を、どうぞ。
外山:大野は便利です。それに、これからどんどん変わって新しくなっていくのでしょうか。ボクは、人ごみが好きだし、楽しみです。

軽くタッチして、声をかけて



クリップ・ボード

消防 出初式

【日時】2013年1月13日(日) 10:00～
【場所】淵野辺公園隣接地
※1面掲載の消防団の活躍を見られます。

音声ガイド付き
上映会
【主催】
「水俣」を子どもたちに
伝えるネットワーク
音声サポーター部会

ドキュメンタリー映画『水俣 患者さんとその世界(完全版)』
1971年製作 監督/土本典昭 上映時間2時間47分
【日時】2013年1月5日(土) 13:15開場13:30上映開始
【場所】おださがプラザ(ラクアルオダサガ4F) **入場無料**
※さがみはら市民協働ファンドゆめの芽の助成事業です。
※上記掲載の外山さんが参加された音声ガイド付き上映会です。
●FMラジオをお持ちの方はご持参ください。

★心のメソッド カラーセラピーで心のバージョンアップ

【日時】2013年1月18日(金)10:30～13:30
【講師】心理セラピスト 井田 尚美さん
【場所】カフェドボワ 南区相模大野 6-7-35
【参加費】2000円(菓子・飲物付)

★気流法でからだほぐし

【日時】2013年1月24日(木)13:30～15:30
【講師】気流法インストラクター 佐藤 響子さん
【場所】相模女子大学翠葉会館 3F 和室 南区文京 2-1-1
【参加費】1500円

★… 地域のお店等を利用して
移動型で開催する講座です。

※詳しくは
お問い合わせください。
☎090-9307-9938



ここずっと市民相談日

1月19日/2月2日/3月9日
いずれも土曜日の11:00～17:00
当日は、電話相談も受け付けます。
TEL 042-745-0676

【場所】たいにいいぼくす

コミュニティ・カフェ

『ここdeコミ』
2013年1月20日(日)
13:30～15:30
※原則、毎月第3日曜日
どなたでも出入り自由

相模大野9-6-18-2F

Information

ここずたうんは、このまちでずっと暮らしたいと思う人、思ってもらいたい人のための情報紙となることを目指しています。

ご意見・投稿、記者志望者はここずたうん編集室へ

【TEL】042-745-0676 【FAX】042-742-0447

【E-mail】info@cocozutto.jp

『季刊・ここずたうん』 年4回発行・無料

【発行日】2013年1月1日

【発行者】



NPO法人ここずっと
〒252-0303 相模大野9-6-18-2F
ここずたうん編集室